

Ⅱ香川大学Ⅱ

【海の中を覗いてみよう！海と日本PROJECT】

香川大学瀬戸内圏研究センターは8月2日、庵治マリンステーションで高校生を対象に「海の中を覗いてみよう！海と日本PROJECT」を開催した。

わが国は海洋大国でありながら学校で海について学習する機会が非常に少ないのが現状。同プロジェクトには高校生に身近な海について学んで



海底に生息する生物の観察

もらい、海の面白さを体感してもらいたいという思いが込められている。

高校生と引率教員を併せた計29名の参加者の中には、昨年参加していた高校生や、県外から参加した高校生もあり、活気に満ちあふれた一日となった。

参加者は調査船カラヌスⅢに乗りこみ、志度湾へ海洋観



海洋プランクトンの顕微鏡観察

測に出かけた。センター関連教員の山口先生（農学部）、岸本船長、香川大学農学部学生のサポートのもと、プランクトン採集や海底の生物観察をはじめとした海洋観測を体験した。高校生の熱中ぶりは、灼熱の太陽にも勝るものがあった。

施設内では瀬戸内圏研究センターの多田センター長と一見副センター長の講義により、海食物連鎖や海洋環境、陸上生態系との違いについて学んだのち、プランクトンの顕微鏡観察が実施された。時折感嘆の声も上がり、レンズ越しの微細な生物をカメラに納めようとピンツを合わせているその瞳は、真剣そのものであった。

高校生たちは、講義により海への理解を深めるとともに、普段目にするのではない海の中に生息する生物、またこれらを取り巻く環境を目の当たりにすることにより、海という未知の世界に一步踏み込んだようであった。